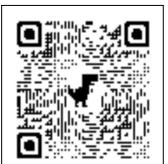


「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり

修学旅行



いすかし



R7年12月19日
文責：校長

今月は人権月間

この4つの取組を進めています。私たちの身の回りには様々な差別事象があります。差別を差別だと気づく力や、差別に負けない力、差別解消に向けて闘う行動力を身につけるには、まことに今の自分たちの生活を見つめ直し、学習を積み重ねる必要があります。学校では子供たち同

士が仲よく遊ぶ姿が多く見られます。ですが、時々、大丈夫かなといふ言葉のやりとりがあります。特に友達同士の呼び捨て、オイ・や、お前！、○ね！、○ろすぞ！は気になつてゐるところです。この期間に自分たちの言動を振り返り、皆が安心して生活できること学校にしてほしいと思います。

12月も半ばを過ぎ、一段と寒くなつたところで体調を崩して欠席する児童が少し増えてきました。二学期の残り少ない日を体調を崩さずに頑張ってほしいと思ひます。

れた悲しい体験を、亡くなられた父に代わって詳細に伝えていただけきました。子供たちには、平和のために、自分でできることを考え行動してほしいと、静かな口調でしたが、力強い表情で訴えかけられました。子供たちは、実際に現地で学ぶことで平和を守り続けていく気持ちを新たにしたようでした。その後のフィールドワークでもガイドさんの話をしつかり聴きながら現地を巡りました。

二日目はハウステンボスでの班活動です。園内に入り諸注意



平和祈念像の前で記念撮影



ぽかぽか言葉がいっぱいの本

快走！ペースランニング

学校体育が目指しているものは、体力の低下に一定の歯止めがかかるた 状態である昨今、自分の課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための力を身に付けることです。ペースランニングの学習では、自分のペースと運動強度について考え、次の学習の目当てを立てる過程がとても楽しかったようでした。「体を動かすって、なんか楽しい！」という気持ちを持つことは大切だと思います。

ニング 普段のペースランニングの授業も時々見ていましたが子供たちはそれぞれに自分のペースを保ちながら楽しく走る姿が見られました。

12月18日（木）に絶好のランニング日和の中、全校児童でペースランニング走と浅野旗、桑田杯のタイムチャレンジ走を行いました。

卷之三

この4つの取組を進めていきます。私たちの身の回りには様々な差別事象があります。差別を差別だと気づく力や、差別に負けない力、差別解消に向けて闘う行動力を身につけるには、まずは今の自分たちの生活を見つめ直し、学習を積み重ねる必要があります。学校では子供たち同



走り終わった6年生の清々しい笑顔

三位	堀慎平	3分2秒
二位	木下湊人	2分51秒
一位	丸塚陽叶	2分51秒
桑田杯		